

■テーマ リズモア校の友達に自分の持っている文房具のことを伝え、交流を深めよう。

■交流の様子



■交流内容

(1)北山とリズモアの天気、時刻などの交流

(2)自分の文房具についての紹介

3、4年生にとって今年度3回目のリズモア校との交流でした。最初に、天気や時刻など簡単な質問をしながら交流を始めました。時差が2時間あることや、リズモア校の友達が半袖の服を着ていることに驚きました。次は、自分の気に入っている文房具について紹介し合いました。こちらからは、クイズ形式で「What's this?」と尋ねながら、実際に使う場面を見せて話しました。伝えたいことが相手に伝わり、嬉しそうでした。リズモア校の友達からは、同じ文房具や珍しい文房具を紹介してもらいました。その後、日本で流行っているキャラクターや飲み物も紹介しました。

<Tape glue>「修正テープのようだ」という反応がありました。「テープのり」はオーストラリアでは見かけない物だったようです。驚きの声が聞こえました。

<High lighter>消すことができる蛍光ペンを紹介すると、同じ物を持っていると応えてくれました。

<Recorder pen>リコーダーの形をしたペンを実際に吹いて紹介すると、おもしろがってくれました。

<Pencil adapter>短くなった鉛筆にはめ込むと使いやすくなる道具（通称「のびのびくん」）を紹介すると、短くなった鉛筆を見せて「私の鉛筆にも付けてほしい!」と、伝えてくれました。

オーストラリアにも日本にある文房具と全く同じものがあったり、初めて見る文房具もあって、面白い発見がありました。

■児童の感想

- ・リズモア校の友達も、ぼくたちの知らないものを紹介してもらって嬉しかった。できるだけ英語で言えたのが良かった。(3年 男子)
- ・できるだけカメラを見て、相手を見ながらしゃべることができた。おぼえた英語の力をはっきした。(3年 男子)
- ・自分の発音がうまくいってなくても、リズモア校のみんながわかってくれたことがうれしかった。不安だったけれど、お互いに笑顔になってとても楽しかった。(4年 女子)
- ・外国にもすごい文房具があってびっくりした。消せるペンが外国にあるなんて知らなかった。リズモア校の人たちがよく反応してくれたのが嬉しかった。(4年 女子)